



スポーツや物づくりの楽しさを体感

そうじゃわくわくフェスティバル

そうじゃわくわくフェスティバルが11月20日、市スポーツセンターで開かれました。スポーツや物づくりの体験など多彩なメニューが用意され、それを楽しむ子どもたちの声が会場に響いていました。

サッカーJ2のファジアーノ岡山やVリーグの岡山シーガルズ、社会人野球クラブチーム倉敷ピーチジャックスを招き、サッカー、バレーボール、野球の各教室を開催。子どもたちは、あこがれの選手らからの指導とあって、目を輝かせてボールを追っていました。

また、ふしぎ体験と称し、ドライアイスを使ったアイスクリーム作りや、プラ板で作るバッジ、動くおもちゃなどの物づくりのコーナーも開設。子どもたちは、ドライアイスを使い瞬間的にアイスクリームができるのを、不思議そうに見入っていました。

ファジアーノ岡山の選手からボールの扱い方を学ぶ子どもたち(写真上)。ドライアイスを使ってアイスクリームができる様子を見入る参加者(写真下)



ミニフォト

おいしいもちがつけたよ



園児もベツタンベツタン

神在幼年消防クラブのもちつき大会が11月25日、神在幼稚園で開かれ、園児やその保護者ら約80人が参加。もちつきを楽しんだり、防火について学んだりしました。園児たちは、自分でついたもちをおいしそうにほお張っていました。

和気あいあいと楽しむ



輪投げ。入ったかな

高齢者・身体障がい者(児)ふれあいスポーツ大会が11月28日、きびじアリーナで開かれました。約330人が6チームに分かれ、輪投げやパン食い競争など8種目に挑戦。ときにはハッスルしながら和気あいあいと楽しんでいました。

打ちたてのそばを堪能



そばを求めて長い列ができた

そばまつりが12月12日、水内コミュニティ広場で開かれました。そばは、地元の原営農組合が栽培したソバによるそば粉を使って打ったもの。この日は、約800食が用意され、訪れた人たちは打ちたてのそばを堪能しました。

100歳 おめでとうございます



祝福を受ける小倉さん

小倉八重子さん(西郡)が11月26日、100歳の誕生日を迎えられ、県と市から記念品が贈られました。編み物が楽しみという小倉さん。長寿の秘訣は、「好き嫌がなく、何でも食べること」と教えてくれました。

男女共同参画のあり方を考える



温かな語り口で講演する日高さん

男女共同参画フォーラムinそうじゃが11月27日、総合福祉センターで開かれました。約200人が参加。妻が国内を転戦する競艇選手の日高邦博さんは講演で、「夫婦でできることをする役割意識をもつことが大切では」と説きました。

地域福祉の推進の契機に



講演する新田さん

保健福祉大会が11月13日、市民会館で開かれ、福祉関係者や市民ら約800人が参加。地域福祉の功労者・団体の表彰や、バンクーバーパラリンピックの金メダリスト新田佳浩さんの講演があり、地域福祉の推進の契機となりました。

夜の景色に魅了される

宝福寺のライトアップ・キビナリエほか夜のまちを美しく彩るイベントが行われました。

宝福寺のライトアップが11月15日から20日までの6日間行われました。80基の照明が仏殿や鮮やかに色づいた木々を浮かび上がらせ、訪れた人たちは夜の紅葉に魅せられていました。

12月1日からは、総社駅前広場と市役所通りでイルミネーションが点灯。約1万5000球のLEDの輝きが、道行く人の目を楽しませています。イルミネーションの点灯は1月11日まで行われます。



方丈からライトアップされた境内や紅葉した木々を見る人たち(写真上)。LEDを使って装飾された総社駅前のロータリー(写真右下)。フィルターを使用して撮影。一部のLEDを自転車発電で点灯させた岡山県立大学のクリスマスEcoリマス2010(写真左下)。フィルターを使用して撮影



練習の成果を披露

総社市小中学校音楽発表会



スタインウェイ製ピアノ(写真左端。表紙の写真)を使っの発表会

全小中学校から児童生徒約1200人が出演した小中学校音楽発表会が11月19日、市民会館で開かれました。

歌謡曲やアニメの曲などを、合唱や合奏、吹奏楽で披露。児童生徒は、日ごろの練習の成果を精一杯発表しました。

また、新たに購入したスタインウェイ製ピアノの初演奏会でもありました。

親子で室内楽の演奏を楽しむ



演奏と歌を楽しんだ

親子で楽しむ音楽会—0才児からのコンサートが11月23日、岡山県立大学で開かれました。岡山フィルハーモニック管弦楽団が、クラシックやアニメの曲などを披露。親子連れが室内楽の演奏を楽しみました。

中学生が消防団活動を体験



火点に向け放水体験する中学生

「おかやまの消防団」いきいき出前講座が11月19日、総社西公園で開かれました。総社中学校1年生約100人が参加。生徒は、消防団分団員らの指導で、放水をはじめ、ホースや消火器の取り扱いなどを教わりました。

市民劇団「温羅」の公演



朗読や踊りで詩の世界観を表現

12月5日、市民劇団「温羅」は市民会館で「橋」を公演。「おさん狐」や「橋」など、なんば・みちこさん(上原)の詩27編を、朗読や歌、踊りで披露。なんばさんの戦争や命への思いを、さまざまな人一つにする橋を表現しました。